



楠 明廣 議員

AKIHIRO KUSUNOKI



問 辺地総合整備計画において、運転免許証を返納した高齢者への交通施策及びスポーツ施設の拡充、レクリエーション施設の設置について検討しているのか。

答 免許返納者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう施策を研究していく。また、施設の拡充についても、多くの方が利用し易く、いきいきとスポーツを楽しむことができる運動公園となるよう努める。

問 県道44号相生穴栗線の道路改良に取り掛かるには、どの程度かかる予定なのか。

答 社会基盤整備プログラムに記載されているが、事業化には至っていない。防災面、救命医療等重要な幹線道路であるため、引き続き要望活動を行う。

問 山口晋平県議から提案のあった平野橋部分を緩やかなカーブにし、通行し易くするには、橋の架け替えは必要と考えるが。

答 河川改修計画や道路線形を見直すなど、様々な角度から調査研究していただくよう県に対し、要望の準備を行っている。

問 龍野新大橋西詰の北向きへの右折車線工事について

答 10月以降の県道の工事進捗状況に合わせ、区画線の引直しを行い、年度内に完了する。

問 旧龍野実高跡地への大学誘致について、前市長が発行した印刷物に記載されているようなやりとりがあったのか。

答 社会情勢の変化等を勘案し、今後の事業の展開は困難と判断されたものと推察され、信頼関係でやめるといった安易なものではないと考える。

その他の質問事項

- 災害時の避難指示及び災害シミュレーションについて
- 水難事故に係る河川敷の改修及び水難事故への啓発について
- インターネット取引を巡る消費者相談について
- コロナウイルス感染症への市独自の対策について
- 平成27年から質問している山陽自動車道龍野IC周辺の開発について



堀 讓 議員

YUZURU HORII



医療対応について

問 感染爆発が起こり、兵庫県も感染者数最多を更新してきた。医療の逼迫状況も深刻さを増し、自宅療養者が増えた。市内における「自宅療養者」の状況把握はできているのか。

答 感染者状況は兵庫県が把握しており、県内の自宅療養者数は2,712人で、市内状況は公表されていない。龍野健康福祉事務所に確認すると、県保健師が毎日健康観察を行い、状況に応じて、訪問診療など市内の医師会に要請しているとのことである。

問 市の保健師業務も過重負担となっていると聞けが、その対応はどうしているのか。

答 コロナ対応業務が増加しているが、対策チームを中心に、全職員で対応している。コロナ不安もあり、市民の相談ケースが増加し、時間確保が課題である。

学校園対応について

問 コロナウイルスの変異株、デルタ株は子どもへの感染を広げている。なお一層の感染防止対策が必要であるが、どのような対応を考えているか。

答 毎日の健康観察、マスクの着用、3密の回避などの徹底を継続していく。感染の広がりを早急に防ぐために、臨時休業の判断基準を策定し、学校園に周知している。

問 子どもたちは今も、コロナ不安を抱えている。心の健康への配慮と、可能な限りの行事の実施に努めてもらいたい。どう考えるか。

答 児童生徒の状況を的確に把握し、スクールカウンセラー等による相談体制を整え、心のケアを行うしていく。学校行事は、思い出に残る有意義な教育活動と認識している。感染状況を注視しながら、学校ごとに工夫し、実施に向けて検討していく。

その他の質問事項

- 各年齢層のワクチンの接種状況
- PCR検査体制